

里山学研究センター共同研究会

——台湾の国立政治大学との交流——

龍谷大学政策学部・准教授 里山学研究センター・センター長

谷垣 岳人

龍谷大学経済学部・教授 里山学研究センター・副センター長

伊達 浩憲

龍谷大学先端理工学部・講師 里山学研究センター・副センター長

中川 晃成

龍谷大学社会学部・教授 里山学研究センター・研究員

村澤真保呂

龍谷大学法学部・教授 里山学研究センター・研究員

吉岡 祥充

里山学研究センター・博士研究員

太田 真人

I. はじめに

森のある大学 龍谷大学里山学研究センターは、2023年8月29日（月）に台湾の国立政治大学との間で共同研究会を実施した。

II. 概要

本共同研究会の概要は、次の通りである。

【日 時】 2023年8月29日（月）15時00分～19時00分

【場 所】 オンライン（Zoom）（和顔館B110教室よりオンライン）

【参加者（里山学研究センター）】 谷垣岳人氏（龍谷大学政策学部・准教授 里山学研究センター・センター長）、伊達浩憲氏（龍谷大学経済学部・教授 里山学研究センター・副センター長）、中川晃成氏（龍谷大学先端理工学部・講師 里山学研究センター・副センター長）、村澤真保呂氏（龍谷大学社会学部・教授 里山学研究センター・研究員）、吉岡祥充氏（龍谷大学法学部・教授 里山学研究センター・研究員）、太田真人氏（里山学研究センター・博士研究員）、眞田章午氏（里山学研究センター・研究補助員）

【参加者（国立政治大学）】 詹志禹氏（国立政治大学・副校長 国立政治大学教育學院・教授）、戴秀雄氏（国立政治大学地政學系・副教授）、陳怡萱氏（国立政治大学土地政策與環境規劃碩士原住民專班・專案助理教授）、官大偉氏（国立政治大学民族學系・教授兼系主任）、李明芝氏（国立政治大学地政學系・助理教授）

【通訳兼コーディネータ】金紅実氏（龍谷大学政策学部・准教授 里山学研究センター・研究員）

Ⅲ. 共同研究会の内容

本研究会では、里山学研究センターと台湾の国立政治大学双方の研究者より、「里山」を軸に次の各報告が行われた。

報告1「里山學在政大的實踐方式簡介」（政治大学における里山学の実践方法と紹介）

詹 志禹氏（国立政治大學・副校長 国立政治大學教育學院・教授）

報告2「「里山」をめぐる研究状況の変化」

村澤真保呂氏（龍谷大学社会学部・教授 里山学研究センター・研究員）

報告3「台灣里山的課題」（台灣における里山の課題）

戴 秀雄氏（国立政治大學地政學系・副教授）

報告4「里山のガバナンス－入会の現状と課題－」

吉岡祥充氏（龍谷大学法学部・教授 里山学研究センター・研究員）

報告5「原住民族與山林的關係」（原住民族と山林の關係）

陳 怡萱氏（国立政治大學土地政策與環境規劃碩士原住民專班・專案助理教授）

報告6「淀川水系の近代治水の構造とその現在」

中川晃成氏（龍谷大学先端理工学部・講師 里山学研究センター・副センター長）

報告7「自然の多様な価値観」と「行為主体性」を環境政策立案過程の中に埋め込むために：功利主義的「価値一元論」にもとづく経済的評価を超えて」

伊達浩憲氏（龍谷大学経済学部・教授 里山学研究センター・副センター長）

報告8「台灣山林資源的共管課題」（台灣山林資源の共同管理問題）

李 明芝氏（国立政治大學地政學系・助理教授）

なお、報告タイトルの翻訳は金紅実氏（龍谷大学政策学部・准教授 里山学研究センター・研究員）によるものである。

本共同研究会は終始、和やかな雰囲気のもとで行われ、功利主義との関係といった原理論的なものから研究の独自性の発掘と各フィールドの特性、評価の基準をどのように作りだすのかといった研究手法の在り方について等、参加者間で活発な議論がされた。

（報告：眞田章午（里山学研究センター・研究補助員））